

西小だより 春夏秋冬あっちこち

第55号
平成30年3月8日
桐生市小曾根町1-9
桐生市立西小学校

楽しかった ふれあい活動

白梅がほころび始めた
3月2日金曜日、今年度最後の「ふれあい活動」がありました。ちょっと風が冷たい日でしたが、みんなで仲良く楽しく遊べました。6年生との活動はこの日が最後。6年生、今までありがとう。5年生、4月からよろしくをお願いします。

長縄の奥に写っているのが梅の木です ↓



PTA年度末総会 3/2(金)

今年度の活動報告が承認され、来年度の新本部役員と新学年代表が決定し紹介されました。会員の皆様、一年間、大変お世話になりました。来年度もよろしくお願ひいたします。



花壇では、チューリップの芽が、一雨ごとに伸びています

喫煙防止教室

2/16(金)

喫煙や有害薬物・飲酒等、青少年の健康問題に詳しい

小林賢二先生を講師に招き、6年生とその保護者が喫煙が健康に及ぼす影響についての話を行いました。タバコは、『がん』や『COPD(以前は肺気腫と呼ばれていました)』のリスクを高めます。タバコの煙が立ちこめる場所に一緒にいれば、そこにいる人は、いやでも間接的に煙を吸い込むこと(受動喫煙)になります。

20歳以上の大人は、喫煙することが認められています。しかし、タバコは一度吸い始めるとニコチン依存症になり、なかなか止められなくなるものです。つまり《吸わない自由》を奪われていくのです。だから、パンフレットは「最初の一本を吸わないで」と呼びかけているのです。



「自由」を守るために、最初の一本を吸わないで

あなたは、タバコを吸うことも吸わないことも「自由に」選ぶことができます。でも一度、タバコを吸い始めると「自由な選択」ができなくなります。ニコチンから逃げることはとても難しいからです。

「タバコを吸わないで一日が過ぎる」という当たり前で、簡単なことが、とても大きい宝物なのです。あなたの大切な「自由」を守る一番簡単な方法は、「最初の一本を吸わないこと」です。

写真は「タバコと健康」公益財団法人やまがた健康推進機構発行のパンフレットから抜粋

第3回 学校保健委員会

3月2日(金)



風邪や食中毒、胃腸炎等の予防には、手洗いが非常に重要です。そこで、今回は、「手洗いの仕方」をテーマにしました。学校での取組として、児童保健委員会が、この2月から行っている「手洗いの歌」の放送(きらきら星の替え歌を自分たちで歌ったものを、長い休み時間が終了する5分前にかけています)のことで流



しの水道の前に正しい手洗いを促す写真を掲示していることを紹介しました。その後、中央共同調理場の栄養士さんに洗い方のお手本を見せていただきました。さすがに、食に関する事故など万が一にも許されない職場での手洗いは、ここまで徹底しているのかとびっくりするくらい丁寧でした。

校医さんからは、インフルエンザはまだまだ油断はできない。また、花粉症対策としても手洗いが有効という指導をいただきました。石けんを使い時間をかけてしっかりと洗う習慣をつけましょう。

